

あいち健康の森健康科学総合センター健康宿泊館への  
新型コロナウイルス感染症患者の受入れにかかる住民説明会  
質疑応答

日時：2020年4月8日（水）午後6時から午後7時50分  
場所：あいち健康の森健康科学総合センター1階 プラザホール  
参加者：112人（施設周辺にお住まいの方、関係機関の方など）

Q：従事するスタッフが、施設の中で感染してしまい、感染を広げてしまうことが懸念されるが、スタッフの通勤手段について教えてほしい。

A：スタッフの居住地は県内であり、車移動や、時間帯によっては公共交通機関の人もいます。万全な感染防止対策をとっており、移動での感染リスクはないため、スタッフの移動手段は問いません。

Q：宿泊施設から患者を外に出させないための工夫について教えてほしい。

A：利用できる生活エリアは明確に分けられているため、施設外に出ることはできません。玄関等に関しては鍵を閉めます。

Q：この施設がクラスターになってしまった時はどのような対応をとるのか。

A：クラスターにならないように万全の対策をとって取り組みます。接触する際は防御を万全にいたします。

Q：患者自身による自家用車での移動の管理について、コンビニなどに立ち寄らないことをどのように管理するのか。

A：自家用車で施設までどこにも立ち寄ることなく、直行することを条件にし、同意していただける方だけを受け入れいたします。

Q：あいち健康の森へ遊びに来る子ども達が宿泊館に近づかないような対策をお願いしたい。

A：患者が外に出られないことはもちろん、外から中に子どもたちを含む公園利用者の方が入ることもできないようになっているため、患者との接触の機会はありません。ご安心ください。

Q：あいち健康の森公園を毎日歩いているが、今後も利用できるのか。安全なのか。

A：健康プラザの施設で働いている人が汚染エリアに入ることはありません。陽性患者が施設の外へ出ることもありません。そのためコロナウイルスを屋外に持ち出すことはないと考えています。施設外は安全であることについてご理解をいただきますようお願いいたします。

Q：住民説明会を周辺地域のどの程度の人に周知したのか。

A：正確な数は把握しきれいていません。この施設へ隣接する住宅等はなく、地元市町を通じて近隣住民の方に周知をしていただきました。

Q：施設周辺には住宅がないとの知事コメントであったが、逆に言えば周辺に住宅があると問題があるのか。

A：周辺地域へのウイルスの感染は万全の対策をとっているため問題はありません。仮に、施設周辺に住宅があると、近隣の住民の方が不安や、風評被害の心配をされることはありうると考えています。

Q：健康プラザでの患者受け入れ実施における課題をふまえて2つめの受入施設を考えるとのことだが、健康プラザの患者受け入れで問題が発生すると思っているということなのか。

A：万全の対策はとっておりますが、初めてケースであるため、念には念を入れて対応しているということです。患者受け入れによる感染拡大といった問題が発生するとは考えていません。

Q：感染症の指定医療機関病床数と、この施設の考え方について教えてほしい。

A：愛知県では、感染症指定医療機関を72床確保しており、その他様々な医療機関の協力を含め、250床の確保を目指しています。2回のPCR検査で陰性を確認できると退院できますが、なかなか陰性が確認できずに、入院が長引く現状があります。そのような方をこの施設で受け入れ、少しでも医療機関の負担を軽減できればよいと考えています。

Q：面会はどのように制限していくのか

A：一切面会は禁止しております。感染防止を最優先に考えております。

Q：蒲郡の男性のように外を出回ることにはあるのか。外に出られないような対策についてお聞きしたい。

A：外に出回ることにはできないようになっています。生活エリアを区分けしており、玄関等には鍵をかけるようにしています。施設外に出られるところにも鍵をかけており、中からはもちろん、外からも入れなくなっています。

Q：近隣住民に対しての安全性に関して、言葉だけでなく具体例を持って証明、納得させてほしい。決定から受入まで短い期間しかなかったと思う。人が考えたことだから必ずどこかでミスが出る。様々な問題への具体的な対策をもっと伝えてほしい。

A：受入決定までは短期間で決めたわけではありません。感染症のスペシャリストにお願いをして、対策に必要ないろんな意見をいただき、検討をしたうえで決めたことであり、準備には時間をかけております。安全性に関して不安や心配は無いと考えております。

Q：患者は自家用車、県の公用車で移動してくると聞いたが、途中下車が考えられない根拠はどこにあるのか。

A：自家用車を利用するにあたり、途中下車しないことは大前提であり、繰り返し同意を得るようにします。

意見：陰性の結果が出てないと言うことは、陽性の可能性もあるということ。  
常識的に考えれば口約束だけでも守る人はいるが守らない人は守らない。患者本人には感染者という自覚を強く持たせる努力をしてほしい

意見：風評被害で買い物もできない。

意見：公用車が使えないなどの様々な問題があるのは分かるが、近隣住民もリスクを負うのだから、県もある程度のリスクを負って対応してもいいのではないか。

Q：入所者はたばこを吸うことはできるのか。

A：絶対にできません。

意見：近隣住民であるにも関わらず、昨日の報道ではじめて患者を受け入れることを知った状況である。それなのに、徹底してやる、ちゃんとやると言われても、具体性がない。

意見：大府市役所、東浦町役場の人はなんでいないのか。大府市、東浦町を信じて住んでいるのにおかしい。県が取りまとめてちゃんと説明してほしい。

県：本日出席されている藤田医科大学の土井先生や専門医の方々により安全性の確認はできております。

意見：言葉だけで具体性がない。これだと近隣住民は納得しない。信頼できない。

意見：県が不安じゃないと言っても、我々が不安になる。考えが逆であり、県の考えを優先するのではなく、近隣住民の考えを優先してほしい。今日聞いた話は一つも納得できない。協力できない。考え直して、もう一度説明会を開いてくれ。

意見：明日からの入所は決定事項だと思うため、現実的な提案として、自家用車での移動中は最低限、県の職員が後ろからついて行ってどこにも寄らないということを確認してほしい。

Q：新型コロナウイルス感染症の終息は見えないがどのような状況になれば、この宿泊施設を使わなくなるのか県の考えを教えてください。

A：現状として、医療機関に入院している患者さんの数が増えてきております。そのため入院治療が必要でない方、検査でなかなか陰性にならない方に、こちらの施設に入所していただき、医療機関の負担の軽減を図るために使わせていただきます。今後陽性患者の方が減り、医療機関の負担が解消されれば、この施設を使う必要も無いと考えています。

Q：施設で従事する職員から感染拡大しないか心配である。

A：汚染エリアに入る医療従事者や生活支援スタッフは必ず防護服を着用し、防護服の着脱もしっかり訓練したうえで汚染エリアに入る対処をしており、スタッフから感染者が出ないように徹底した対策を行っております。また、感染症の専門家である藤田医科大学の土井教授にもアドバイスをいただきながら、万全の感染防止対策を行っております。

Q：火事等緊急事態の場合、患者も外に避難すると思うが、患者以外の方との区分けはつくのか。リストバンドなど目印になるものを着用してはどうか。

A：患者以外の方との区分けについては、現状、特段の措置を講じる予定がなかったため、リストバンドなど目印になるものの着用で対応します。

Q：入所される方は軽症者ということだが、運動したいと思った時の運動場所はあるか。

A：入所者は外に出ることができないため、館内のスペースを最大限活用して運動する機会を設けていきます。

Q：入所者の方が夜間、外に出ようと思えば出られるのか。夜間、警備が手薄になって外に行く人がいないよう管理をしていただきたい。

A：入所者の方には外に出ないよう了解をいただくとともに、管理をしっかり行ってまいります。

Q：健康開発館は閉鎖するのか。健康宿泊館の入所者がゼロになるまで、他の館もしっかり管理をしていただきたい。

A：健康開発館は、県立施設全体でコロナウイルスまん延防止の観点から検討し、現在は休館しています。今後の方針については、今回の健康宿泊館での受け入れとも連動してきますので、皆様の健康・安全を第一に考え、施設管理者とも協議をして決めていきたいと考えております。

Q：今日の説明会の内容や質疑について、ホームページやマスコミを活用して案内してほしい。現在、何名が入所している。何名が退所しているといった情報公開をしっかりともらえれば、住民の不安も和らぐのでは。

A：昨日、健康宿泊館での受入について記者発表をしまして、本日、早速、午前中にマスコミ各社の皆様に現地の様子を取材していただきました。本日の説明会でいただきましたご意見については、ホームページなどで情報発信をしていきたいと考えております。

意見：今回の件は近隣住民においては、心理的不安はあるもの、最大限協力するしかないと思っている。一方で、健康プラザのプールは今年度撤去されることが予定されているが、プールの存続は住民の切なる願いである。今回この受入れに関して住民は協力をするため、プールを存続してもらえるよう検討していただきたい。

Q：入所者は最高でどれぐらい入るのか。

A：最大で63室ある。まずは一部屋に一人ずつ入所いただき、シングルルーム、ツインルームを優先的に使用し、患者が増えてきたら和室を使用していただきたいと考えております。ご家族が入所条件を満たす場合、同じ部屋で過ごしていただくことも想定している。

Q：出入口は限定されるか。

A：入所者の出入口、職員の出入口など区分けを行います。